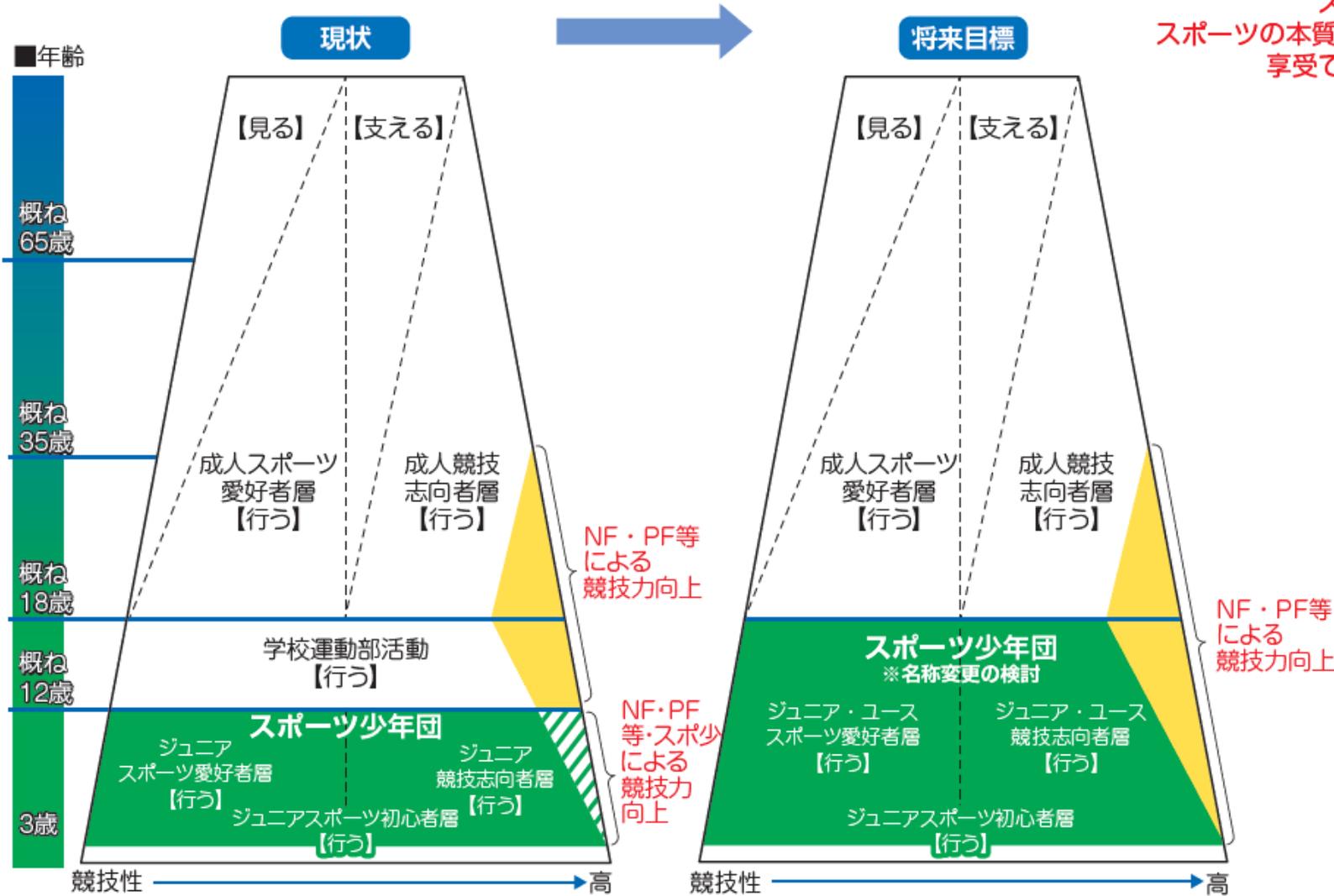


スポーツ少年団は、勝利至上主義を否定し、スポーツの本質である自発的な運動（遊び）から得られる「楽しさ」を享受できる機会をジュニア・ユース世代に提供する。



<現状のスポーツ少年団の課題>  
 ・登録率が人口（主に小学生）の1割弱  
 ・競技力向上におけるNFとの関係が曖昧

※日本体育協会 21世紀のスポーツ振興方策-スポーツ振興2008-P55  
 「スポーツ振興における体育協会の役割モデル図」を参考に作図

- ### 組織の強み
- 我が国最大の青少年スポーツ組織(全国の仲間)
  - 地域社会において活動(住民主体)
  - 組織内で指導者を育成(体系的な人材育成)

- ### 目標（課題の解決方針）
- #### A. 信頼される人材の育成
- ①地域人材の発掘・若手の登用
  - ②信頼されるジュニア・ユーススポーツ指導者の養成
  - ③ジュニア・ユーススポーツマネジメント人材の育成

- #### B. 安全かつ最新の情報・知見に基づく活動の推進
- ①広報・情報提供活動の充実・強化
  - ②多様なジュニア・ユーススポーツ活動プログラム等の開発・紹介
  - ③聖域なき事業の見直し

- #### C. 「ジュニア・ユーススポーツ」における国内組織の協調・連携
- ①スポーツ少年団をジュニア・ユーススポーツの中核組織（統括組織）へ拡充
  - ②「スポーツ少年団の理念」を「ジュニア・ユーススポーツの理念」に進化

図3 国民のスポーツ志向におけるスポーツ少年団の立ち位置イメージ